

堺市泉北水再生センターのMBR*導入に伴う放流先の水質改善

- 下水道普及率及び泉北水再生センターの高度処理実施率の向上に伴い、石津川のBOD濃度は減少傾向にあり、**水質改善**が進んでいる
- 水生生物の確認種の数も増加し、平成26年度には石津川において**仔アユ**を確認した

泉北水再生センターと放流河川・石津川



泉北水再生センター

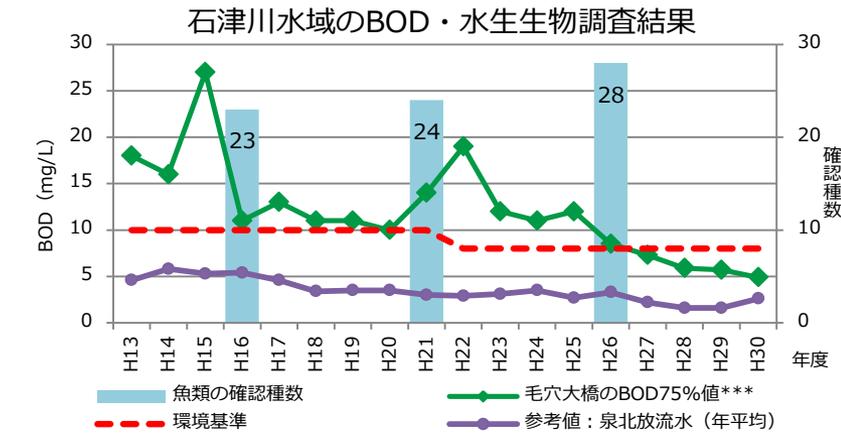
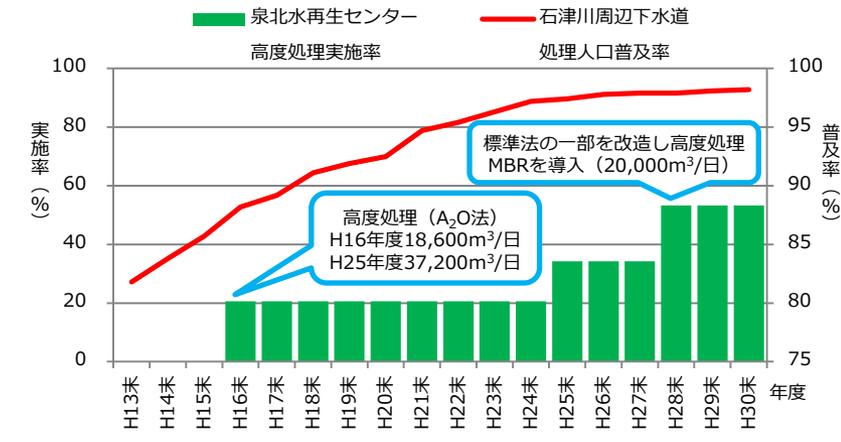
計画処理人口：271,700 (19,170**) 人
 供用開始：昭和44年3月1日
 処理能力：50,100 m³/日 (標準法)
20,000 m³/日 (MBR) 高度処理
37,200 m³/日 (A₂O法) 高度処理
H28年度に新たにMBRを導入した。

**和泉市分

* MBRとは

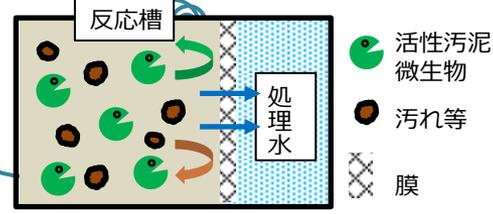
膜分離活性汚泥法 (Membrane Bio Reactor) の略称。
 生物処理における固液分離を膜ろ過により行う処理方法。沈殿池を省略できるため、省スペースでの処理が可能。
 下水の高度処理法 (窒素やりんを標準法より除去可能な方法) の1つであり、泉北水再生センターのMBRでは、微生物により窒素を除去し、凝集剤を用いてりん除去を行っている。

泉北水再生センターのMBR導入と水環境の変化



*** n個の日平均値を水質の良いものから並べたときのn×0.75番目の値
 資料：公共用水域水質等調査結果及び河川水生生物調査結果 (堺市)
 ただし、H30の結果は速報値

生物処理後の水を膜でろ過してきれいにするんやで！
 この膜は微生物や汚れが通らないほど小さい孔が開いてんねんで (´0ω0´)!!



堺市ではこれからも、**川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現**を目指し、泉北水再生センター等の運転改善を継続します。

